

	1年次		2年次		3年次		4年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
主な到達目標	外国語や情報処理、キャリア科目などを通じて、社会において生きていくに必要な幅広い教養と技能や、専門教育の前提となるような基本的知識を修得する。法学の入門的な知識を修得する。		各法分野の基礎となるような法の全般的知識を修得しながら、専門英語知識の基礎を修得する。		各法分野の基本的な知識の修得を前提として、さらに各自の関心の応じて、応用的な様々な法や原理を発展的に修得する。また法律英語コースの専門科目により高度な発信型英語能力を高める。さらに専門演習で特定の領域の専門知識をさらに深く研究し、発信できるようにする。			
基礎科目	基礎科目・キャリア教育科目							
	基礎情報処理・法学・社会学・経済学など							
基礎専門科目								
外国語	外国語3 スピーキングインタラクティブI 外国語1	外国語4 スピーキングインタラクティブII 外国語2						
コース専門英語			リスニングI ライティングI コミュニケーションI インターネットと英語I 時事英語A	リスニングII ライティングII コミュニケーションII インターネットと英語II 時事英語B	パブリックスピーキングI アプレディベート 法律英語A	パブリックスピーキングII ディベート 法律英語B		
コース専門科目	異文化コミュニケーションI	異文化コミュニケーションII	アメリカ事情A ヨーロッパ事情A アジア事情A	アメリカ事情B ヨーロッパ事情B アジア事情B				
外国語海外実習								
基礎科目	憲法・刑法入門 法学・民法入門 政治学入門	民法I A 刑法I A	憲法I A 民法I B 民法II A 民法IV A 刑法I B 刑法II A	憲法I B 民法II B 民法IV B 刑法II B	憲法II 民法V A 民法III A	民法V B 民法III B		
公法系			行政法I A 刑事訴訟法A	行政法I B 刑事訴訟法B	行政法II A 刑事政策 税法A	行政法II B 司法福祉論 税法B 刑法III	比較憲法A	比較憲法B
私法系			商法I A 商法II A 民事訴訟法A 著作権法A	商法I B 商法II B 民事訴訟法B 著作権法B	商法III A 民事執行法A 知的財産法A 環境法A	商法III B 民事執行法B 知的財産法B 環境法B	国際取引法A	国際取引法B
社会法系			労働法A 社会保険法A	労働法B 社会保険法B	集団的労働関係法 経済法A	経済法B		
基礎法系			法哲学A 西洋法制史A	法哲学B 西洋法制史B	法思想史A 日本法制史A ローマ公法	法思想史B 日本法制史B ローマ私法	法社会学A 比較法A ジェンダーと法A	法社会学B 比較法B ジェンダーと法B
国際法系			国際法I A	国際法I B	国際法II A 国際連合論 国際私法A	国際法II B 国際人権法 国際私法B	イスラム国際法	
演習系	基礎演習A	基礎演習B	専門演習II A	専門演習II B	専門演習III A	専門演習III B	専門演習IV A	専門演習IV B
選択科目	法律特講・特習系科目・国際政治系自由選択科目・関連学系科目							



履修順序



関連